



社殿に奉納された「穴開き石」

16 大塚明神社

(玉里字千種茂井野)

祭神は、天照大神。坂上田村麿が延暦二二年(八〇三)建立。
耳の遠い人が石に穴を開けて納めると、聞こえるようになったと伝えられている。



17 大森観音堂

(玉里字大森前)

祭神は、十一面観音。長七尺で木造、運慶の作と言われている。米里大森山より遷座したとされる。
坂上田村麻呂が人首丸を大森山で討ち、その地に観世音を祀ったので、大森観音と呼ばれていた。しかし、再三の火事に遭い御堂を何度も消失したため、尊像を鳴瀬川に納めた。その像が流れて角掛村の大森前まで流れてきたのを川工事の人夫たちが発見し、現在の場所に御堂を建てて安置した。尊像を拾い上げたところを「地藏の前」という。

また、江刺三十三観音の第四番札所であり、奥羽三十三観音の第十七番札所。

11 羽山神社

(玉里字長倉沢)

嘉祥年間(八四八〜八五二)に慈覚大師が開いたといわれている。祭神は、羽山大権現。
境内にあった薬師堂は明治二四年の山火事で焼失した。



12 愛宕神社

(玉里字白山通)

祭神は、阿耨冥智命。
大同二年(八〇七)、坂上田村麻呂が人首丸征討の際、武運長久を願うために建立したといわれている。



13 八幡神社

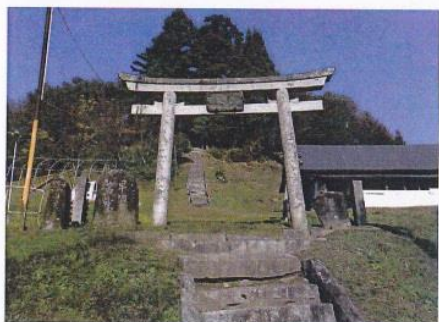
(玉里字小普生沢)

祭神は、米里字学間沢と同じといわれており、八幡大菩薩をご神体として、黒い石を分けて貰い祭っているといわれている。宝永年間(一七〇四〜一七一一)以前の建立とされる。



14 熊野神社

(玉里字六百刈田沢)



18 玉崎駒形神社

(玉里字玉崎)

祭神は、保食神、武角身神、豊玉姫命。
延暦二二年(八〇二)坂上田村麻呂が人首丸討伐の折、馬が進まなくなったので折願をしたら進んだとされる。帰途、従者泉磨を神社に奉仕させたという。
承和年間(八三四〜八四七)僧真恵が玉崎観音を勧進し玉泉寺を建立。
嘉祥三年(八五〇)圓仁(慈覚大師)が十一面観音を安置したとされる。
江刺三十三観音の第三十三番札所である。打納めの霊場である。



熊野大権現。神体は木造の姉妹三人の女神。

寛保二年(一七四二)、伊勢参宮のおり、半四郎なる人物が紀州の新宮から遷座したとされる。

15 白山皇大神宮

(玉里字青篠)

祭神は、天照大神、イザナギ、イザナミ両尊。延暦二二年(八〇三)建立。
坂上田村麻呂が東征の際、当山に伊勢神明天照皇大神宮を奉幣祈願したものとされている。宝晶の玉伝説がある。



19 雲南神社

(玉里字老耳)

祭神 雲南様 弘法様 木像二体
建立 文化八年(一八一二)
本殿中央に祀られているのが雲南様である。



20 魅角山瑞徳寺

(曹洞宗)

(玉里字上種茂井野)

本寺 正法寺
本尊 釈迦如来元禄六年(一六九三)作
開山 応永三年(一三九六)続灯庵主
檀家数 三六〇戸
住職 第二六世 齋藤 和尙